

スヌーズレン体験



～ 空間づくり ～

視覚



光砂時計♪



光こま♪

聴覚

オルゴール音楽♪

嗅覚

アロマ♪



光ボールプール♪

触覚



光ウォーター
トランポリン♪

【期間】2021年12月22日～2022年1月7日（5日間）

【場所】福岡市立西部療育センター3階 運動療法室（ふねの部屋）

クリスマスの時期に合わせて、NPO法人「スヌーズレンを普及する会」の体験事業を利用し、きらきら園とのびのび園で「スヌーズレン」の活動を行いました。コロナ禍でイベントや非日常の経験が難しい子ども達にとっては、思い出に残る楽しい時間になったようです！今でも、身振りで「キラキラに行きたい！」と伝えることや「今度いつ行ける？」と期待する様子があります♪

スヌーズレンってなあに？

スヌーズレンとは、オランダ語で「スヌーフレン」(鼻でクンクンにおいをかぐ)と「ドースレン」(ウトウトと居眠りをする)の合成語で、『周りの環境を探索する』ことと、『ゆったりとリラックスする』という意味を持ち合わせています。

スヌーズレンのはじまり...

スヌーズレンは、1970年代半ばに、オランダの重度知的障がい者施設においてレクリエーション活動として始まりました。当時の施設では、ほとんど寝かされているばかりだった利用者の受け身で刺激のない世界を変えようと、オリジナリティのある感覚を刺激する機材や空間デザインによって、利用者にとって心地よい空間が創り出されました。重度知的障がい者を対象とするレクリエーションとして始まり、今では障がいのあるなしや年代を問わず、利用者の興味や意欲を刺激することやリラックスできる空間として、世界中の医療、教育、福祉などの分野で広がっています。

スヌーズレンは、一般には視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚の五感を適度に刺激する多重感覚環境の中で、利用者・支援者・環境の3者間の相互作用による活動として、利用者と支援者の共感を重視し、利用者の主体性を尊重して行われています。日本のスヌーズレンは、リラクゼーションを主たる目的としたレクリエーション活動という認識があります。 ※国際スヌーズレン協会日本支部 HP 参照

☆「NPO法人スヌーズレンを普及する会」のブラックライトパネルシアター、蛍光グッズの無料貸出事業を利用しました。ありがとうございました。